

協豊会 関東地区

平成25年度 関東地区グループ活動第1回 トヨタ殿講演会を実施

協豊会関東地区ではトヨタ自動車のグローバル調達方針の重点取り組み課題をテーマとして、会員会社への情報提供や課題解決に向けた取り組みにつながる活動を行なっています。

その本年度第1回目のグループ活動として、7月22日(月)午後、トヨタ自動車(株)殿東京本社の大会議室をお借りし、トヨタさんから講師をお招きしての講演会を開催しました。

ご講演をいただいたのはトヨタ自動車(株)製品企画本部、山本エグゼクティブチーフエンジニア様で、「トヨタの主査(CE)制度と新型クラウン開発について」をテーマにしてお話をいただきました。

当日は今、話題の新型クラウンについて、そのエグゼクティブチーフエンジニア様から直接お話を伺えるということで、活動登録会社51社から60名を越えるメンバーが集まり、皆熱心にメモを取りながらの聴講となりました。また、東海地区、関西地区、さらには企画運営委員会からも参加いただき大盛況の講演会となりました。



【講師の山本エグゼクティブチーフエンジニア様】



【会場の様子】

山本様のご講演は、先ず山本様の自己紹介から始まり、「トヨタのCE(チーフエンジニア)制度」と「歴代クラウンのCE紹介」と続き、そして現在の「14代目クラウン開発」についてと、大変分かりやすく、貴重なエピソードも交えながらお話をいただきました。

聴講メンバーにとっては初代から始まる歴代クラウンの懐かしい写真も見ながら、CEが強い信念を持って車両開発を前進させること、また新型クラウンでの『新たな革新への挑戦』の取り組み内容について等の理解を深めることができました。

質疑応答ではCEとしてのご苦勞についてや新型クラウンのデザイン、プロモーションに関する質問などがあり、その一つ一つについて山本様からご丁寧な回答や解説をいただきました。

山本様のご講演の後、参加メンバーは各グループに分かれての自己紹介や意見交換を行ない、第1回目の地区活動は大変有意義な内容を持って終わりました。

また今回は本年度初回の活動ということで、懇親会も開催され、山本様を交えて活動メンバー各位には、相互に親交を深めていただくことができました。

関東地区では今年度も自動車業界を取り巻く厳しい経営環境を踏まえ、トヨタさん・会員会社相互の連携を強め、関東地区の特色を活かした地区活動を企画し、運営して行きます。